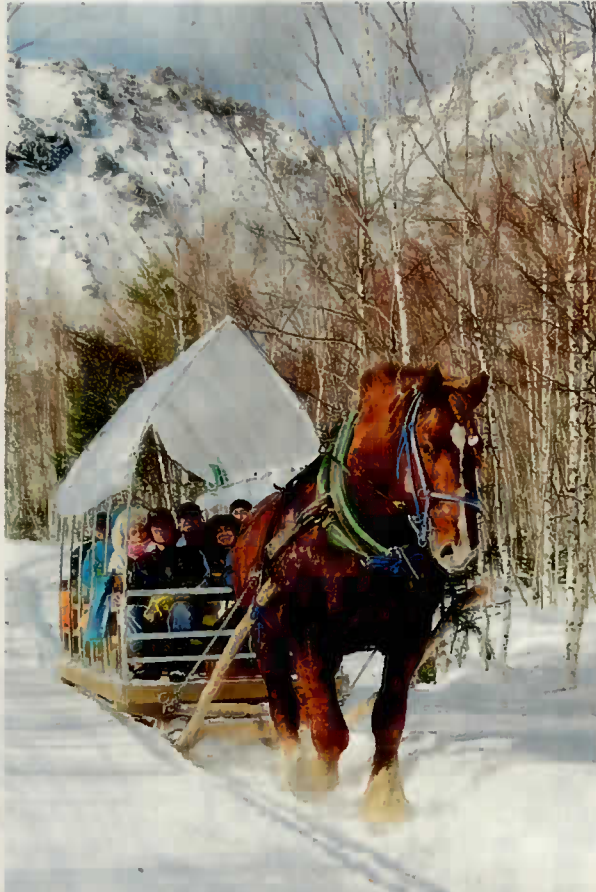


全国でも珍しい

軌道跡で馬そりツアー

硫黄山ヒストリー 冬観光けん引期待

【弟子屈】町ならではの地域密着型の商品を取り扱う旅行会社「ツーリズムてしかが」(白石悠浩社長)が15日から、「馬そりで行く硫黄山ヒストリーツアー」を開始した。国有林内の鉄道の軌道敷跡で、観光馬そりが運行する例は、全国的に見ても珍しく、新たな冬観光のけん引役になると関係者は期待を寄せている。(山本雅之)



硫黄山に観光馬そりが登場。雪深い森の中を駆け抜ける

お客「新鮮で面白い」

馬そりで行く硫黄山ヒストリーツアーは、「知られざる硫黄山鉄道探訪の旅」がテーマ。国の経済産業省が認定している近代化産業遺産の、硫黄山での硫黄採掘の歴史に思いをはせる旅行商品で、かつて硫黄を運搬した「安田鉱山鉄道」で知られる鉄道軌道跡を、雪

景色を楽しみながら馬そりで走る。コースは、硫黄山レストハウスと第2硫黄山を結ぶ往復4キロで、時間は約50分。運行初日は、道内外の観光客ら12人が参加。同レストハ

ウスのネイチャーセンターで、硫黄山の歴史について予習した後、ばん馬の馬そりに乗り込んだ。そのは雪が降り積もった森林を駆け抜け、道なき道を右に左に揺れなが

ら、力強く歩を進めた。案内役は、ツーリズムてしかがの自然ガイドと、50年前まで実際に硫黄の採掘に携わっていた「古老」が務め、掛け合い漫才のようなやり取りで、硫黄採掘時の光景や近代化産業遺産としての価値、ばん馬の魅力などを説明した。

横須賀市から来た女性は「川湯温泉街の宿泊先で勧められて参加したが、大変面白かった。釧路の発展の背景に、硫黄山があったと聞いて驚かされた。新鮮味があるツアー

なので、これからも続けてほしい」と話していた。白石社長は「硫黄山という貴重な産業遺産にスポットライトを当てた旅行商品を通じて、弟子屈町を一層売り込んでいきたい」と話している。

同ツアーは3月27日まで、1日2回運行。時間は午前10時、午後1時30分。募集人員は各回12人まで。料金は大人5000円(小学生3500円、小学生未満無料)。利用前日の午後6時までに予約が必要。申し込みは、ツーリズムてしかが015(483)2101へ。